

朝倉市人口ビジョン（概要版）

中長期展望人口ビジョン（2060年を視野）

人口減少問題の克服

2060年の朝倉市の人口
 国立社会保障・人口問題研究所は約27,000人
 と推計

人口減少の歯止め

1 市民が希望する出生率の実現

希望出生率1.86

2 人口移動の均衡の実現

2040年転出入差引「0」

人口の展望

本市の将来人口について、市民の希望の実現性を前提に、国の長期ビジョンと同様に2060年（平成72年）までを展望します。

また、人口を展望するにあたっては、自然増減については市民が希望する出生率1.86及び人口が超長期に均衡する出生率2.07の達成年を3つのケースで設定、社会増減については人口移動の均衡年を2040年（平成52年）に設定し推計します。

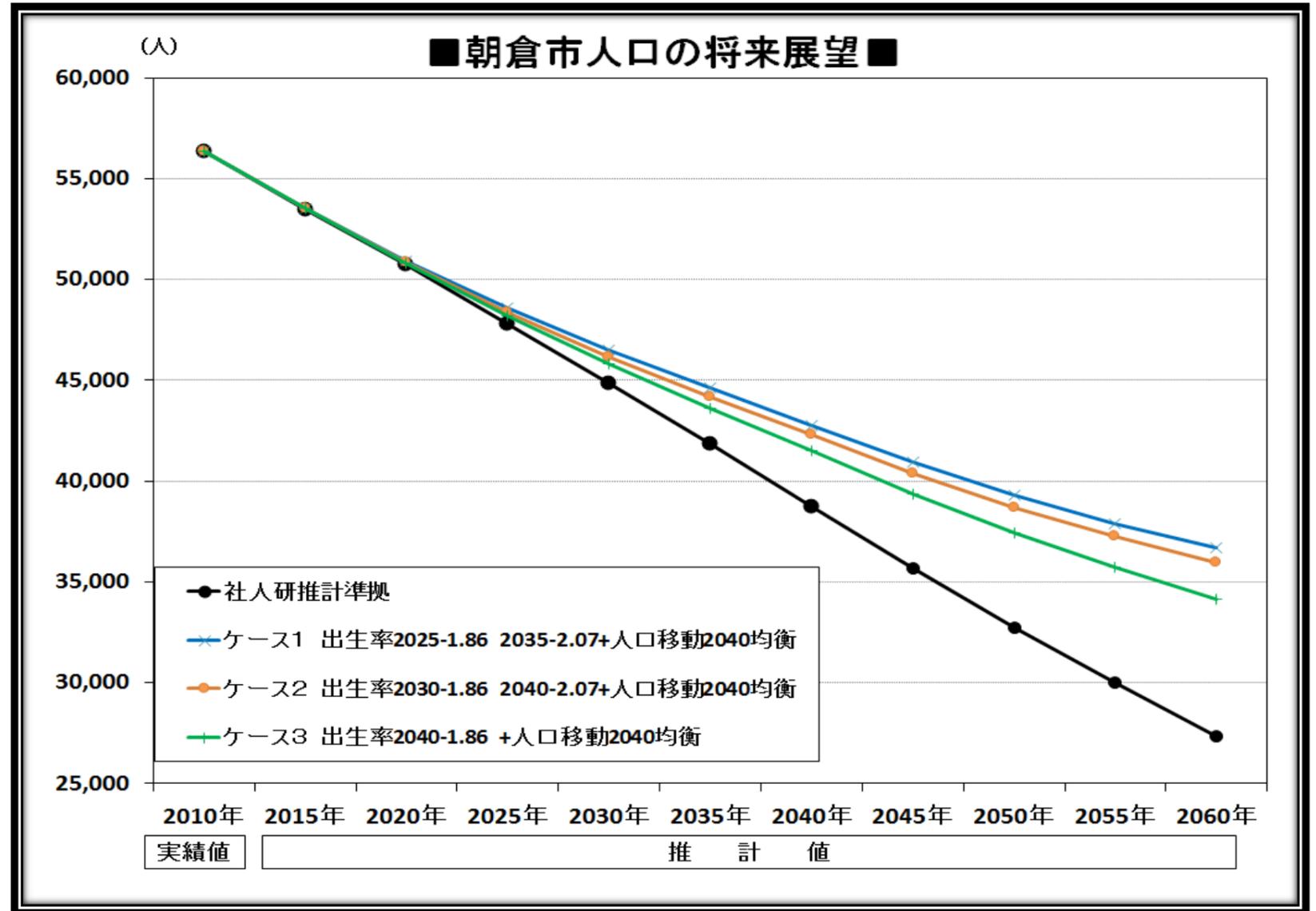
ケース	出生率1.86の達成年	出生率2.07の達成年	人口移動の均衡年
1	2025年（平成37年）	2035年（平成47年）	2040年（平成52年）
2	2030年（平成42年）	2040年（平成52年）	2040年（平成52年）
3	2040年（平成52年）	出生率1.86で推移	2040年（平成52年）

上向き修正

朝倉市は
 約34,100人～36,700人

維持すると推計

これらの前提により、朝倉市の将来人口を展望すると、2040年（平成52年）には、約41,500人～42,800人、その後人口減少は緩やかになりながらも継続し、2060年（平成72年）には、約34,100人～36,700人となることが推計されます。



	実績値	推計値										
		2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年	2060年
社人研推計準拠 出生率2024-1.33 長期的に1.35へ収束 純移動率0.5倍-2020			53,492	50,718	47,812	44,833	41,823	38,748	35,659	32,729	29,978	27,359
ケース1 出生率2025-1.86 2035-2.07	56,353	+人口移動 2040均衡	53,539	50,927	48,618	46,510	44,608	42,765	40,919	39,286	37,893	36,694
ケース2 出生率2030-1.86 2040-2.07			53,539	50,845	48,384	46,170	44,155	42,279	40,386	38,692	37,235	35,966
ケース3 出生率2040-1.86			53,539	50,779	48,197	45,812	43,607	41,508	39,378	37,433	35,704	34,135

（出典）内閣官房まち・ひと・しごと創生本部提供資料を基に作成